

(件名) 鹿児島本港区エリアの利活用，ドルフィンポート跡地再開発について

(陳情の趣旨)

県の新総合体育館「スポーツ・コンベンションセンター」の整備が進められている本港区エリアは、鹿児島の自然の雄大さ、美しさをもっとも身近に体感できる場所です。60万都市の一等地に、錦江湾と桜島が眼前に広がるという比類なき景観は、私たち県民にとって心のよりどころであり、この地を訪れる国内・海外の誰もが感動し、賞賛を得てきました。

また、奄美・屋久島という世界遺産の島々をはじめとする離島航路の玄関口であり、大隅半島、さらには湾奥の始良・霧島地区ともつなぐ海上交通の要衝でもあります。

このように本港区エリアは、これからの鹿児島の経済面・観光面を支える意味でも極めて重要性の高い地域資源であり、未来を担う青少年にとっても郷土愛を涵養しうる場所でもあります。

したがって、鹿児島本港区エリアの利活用，ドルフィンポート跡地再開発に関して、まちづくりのランド・デザインの観点からの根本的な議論を求めます。

以上の趣旨に基づき、下記事項を陳情します。

記

1. 設置予定の「鹿児島港本港区エリアの利活用検討委員会（仮称）」においては、鹿児島港本港区エリアのみの利活用を検討するのではなく、30年以上も改訂されていない鹿児島港の港湾計画を根本から見直し、航路や道路の付け替えも含めた鹿児島港全体のランドデザインを描くことを検討すること。
2. 鹿児島港本港区エリアの利活用を検討する際には、現在ドルフィンポート跡地での整備が計画されている「スポーツ・コンベンションセンター」ありきの検討とすることなく、50年後100年後を見据えた、鹿児島港全体を含む県都鹿児島市のまちづくりを主軸に検討すること。